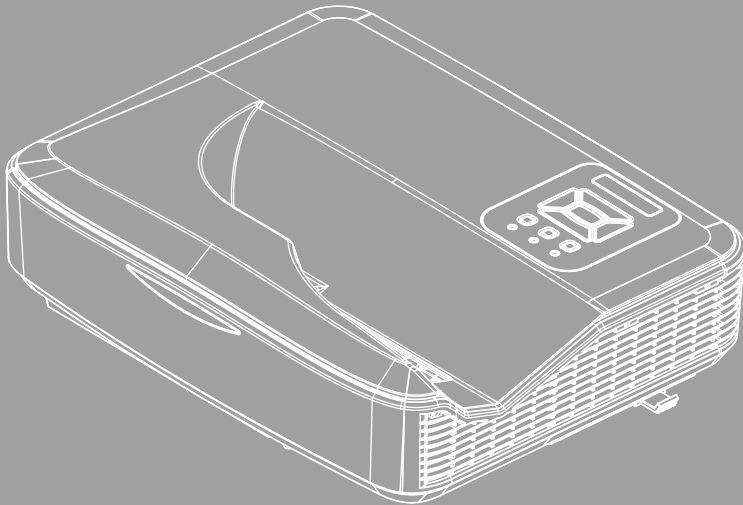




DLP® プロジェクター ZH300UW



ユーザーマニュアル



目次

必ずお守りください (安全上の注意) .. 3	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー .. 23
必ずお守りください (安全上の注意) 3	操作方法 23
3D 安全情報 5	ピクチャー 24
著作権 5	スクリーン 26
免責条項 5	設定 28
商標認識 5	ボリューム 30
FCC 6	オプション 31
EU 諸国への適合宣言 6	ランプの設定 33
WEEE 6	3D 34
はじめに 7	対話型 35
パッケージの概要 7	マルチメディア 36
標準付属品 7	ウェブブラウザを使用して
製品の各部名称 8	プロジェクターを制御する方法 .. 38
メインユニット 8	Crestron RoomView:
コントロールパネル 9	制御ツール .. 40
接続 10	マルチメディア 42
リモコン 11	マルチメディアファイルへの
設置方法 12	アクセス 42
プロジェクターの接続 12	マルチメディアモードへ
コンピュータ/	アクセスする方法 .. 42
ノートパソコンへの接続 12	モバイルのディスプレイ 43
ビデオソースへの接続 13	ラップトップのディスプレイ 44
プロジェクターの	デスクトップのディスプレイ 45
電源オン/オフ 14	USB ストレージ表示 46
プロジェクター	マルチメディア設定の構成 47
の電源を入れる 14	メンテナンス 49
プロジェクターの電源を切る .. 15	ダストフィルターの
インジケーター 15	取り付けおよび清掃 49
投影画像の調整 16	付録 50
プロジェクターの	サポートされている
高さを調整する 16	マルチメディア形式 50
プロジェクターの	写真形式 50
フォーカスを調整する .. 17	オーディオ形式 50
イメージサイズと投写距離 18	ビデオ形式 51
ユーザーコントロール 20	字幕形式 53
コントロールパネルおよび	Office Viewer 形式 53
リモコン 20	容量 54
コントロールパネル 20	互換性モード 55
リモコン 21	VGA アナログ 55
	HDMI デジタル 57
	RS232 コマンドと
	プロトコル機能リスト 59
	プロジェクターの寸法と天井取り付け .. 60
	保証書 62

必ずお守りください（安全上の注意）

安全に関する重要な内容です。

お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。そのため、この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従い、内容をよくご理解いただき正しくお使いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うなど、人身事故の可能性が想定されます。	 警告	この表示は、製品の筐体内部に感電の恐れのある絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることを表示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害をあたえる可能性が想定されます。	 警告	火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には危険な高電圧が存在しますので、キャビネットは開けないでください。開けるときは、サービススタッフにご依頼ください。

 警告			
 感電注意	● プロジェクターを水気や湿気のある場所で使用しないでください。プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。 火災や感電の原因になります。 ● ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。 火事や感電のリスクがあります。 ● プロジェクター内部に、異物や液体が入らないようご注意ください。 危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。		
 発火注意	● 可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。 プロジェクターの使用で、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。		
 禁止	● 以下のような環境下では使用しないでください。 ・ 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。 * 海拔 0 ～ 1830メートル - 極端に暑い > 35℃ - 極端に寒い < 5℃ * 海拔 1830メートル 以上 - 極端に暑い > 30℃ - 極端に寒い < 5℃ ・ 極端に高湿度 > 70% R.H. (相対湿度) ・ 大量のほこりや汚れにさらされる場所。 ・ 強い磁場が集まる装置の傍に置く。 ・ 直射日光の当たる場所。 ● 物理的に破損しているまたは乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。 物理的なダメージや酷使とは以下の通りです。（ただし、これは一部の例です。） ・ 装置を落とした。 ・ 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。 ・ プロジェクターに液体をこぼした。 ・ プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。 ・ プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。 ● 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。 プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。 ● プロジェクターの使用で、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。 光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。 ● お客様ご自身でプロジェクターを修理しないでください。 カバーを開けたり取り外したりすると、感電やその他の危険にさらされます。 本機を修理に出す前にコンタクトセンター にお電話ください。 ● プロジェクターの使用で、プロジェクターのレンズを直視しないでください。 強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。		
 分解禁止	● プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。 感電の原因になります。		

必ずお守りください（安全上の注意）

⚠ 警告



- このプロジェクターは、IEC 60825-1 2007、CFR1040.10および1040.11準拠のクラス 2レーザー装置です。
- クラス2レーザー製品、光線を直視しないでください。
- このプロジェクターはclass 4レーザーモジュールを内蔵しています。
お客様ご自身でプロジェクターの分解または改造は絶対に行わないでください。
- ユーザーマニュアルによって特に指示されていない操作または調整でも、レーザーの放射にさらされる危険があります。
- プロジェクターを開けたり分解しないでください。レーザー放射の暴露によって負傷することがあります。
- プロジェクターの電源が入っているときにレーザービームを見つめないでください。
明るい光によって目に永続的な障害が生じる恐れがあります。
- コントロール、調整または操作手順に従わないと、レーザー放射の暴露によって負傷する恐れがあります。
- 組立て、操作およびメンテナンスのための適切な指示に従ってください。この指示にはレーザーへの暴露の可能性およびクラス2での到達可能な放射制限超過による二次的放射を回避するための安全上の注意に関する警告が含まれます。

⚠ 注意



必ず実行

- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がない場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒートーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と軽く湿らせた柔らかい乾いた布をご使用ください。
本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- 安全に関係するマークについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品／アクセサリのみをご使用ください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。
長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。
プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。
標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップまたはサージプロテクターを使用してください。
停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

必ずお守りください（安全上の注意）

3D安全情報

ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用される場合は、この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意に従ってご利用ください。

警告



幼児及び10代の方は3D鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっていますので、画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトにさらされると、一部視聴者はてんかん 症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合またてんかんや発作の家族歴がある 場合は、3D機能をご利用いただく前に医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴また家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の3D機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに3D画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください。
(1) 視覚の変化 (2) 軽い頭痛 (3) 眩暈 (4) 眼や筋肉の引きつりといった無意識の動作
(5) 混乱状態 (6) 吐き気 (7) 意識喪失 (8) 痙攣 (9) 急激な腹痛 (10) 見当識障害。
幼児及び10代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。特にお子様がご利用されている場合、ご両親はお子様を監督いただき、これらの症状が出ていないかご確認ください。
- 3D映像の鑑賞は、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、3D映像の鑑賞中は頻繁に休憩を取ることを推奨します。目に疲労や乾きまた上記の症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止してください。また、症状が落ち着いてからでも、最低30分はご使用をお控えください。
- 長時間、画面の近くに座って 3D 映像を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低3倍の距離です。また、目の高さの推奨位置は、視聴者の目の位置が画面の高さにあることです。
- 3D眼鏡をかけながらの長時間にわたる3D映像の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D映像の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D映像の鑑賞以外の目的での3D眼鏡のご使用はお止めください。
- その他の目的（通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど）のための3D眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D映像の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。3D映像を鑑賞する際は、広い階段の吹き抜けやバルコニーの側にプロジェクターを設置しないでください。また、他の物が落ちてきたり、倒れたり、壊れたりする場所にもプロジェクターを置かないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。© 著作権 2015

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性についていかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

商標認識

Kensingtonは ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。DLP®、DLP Link、DLP ロゴは Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は Texas Instruments の商標です。本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。DARBEE は、Darbee Products, Inc. の商標です。MHL (Mobile High-Definition Link) および MHL ロゴは、MHL Licensing, LLC の商標または登録商標です。

必ずお守りください（安全上の注意）

FCC

本装置は、FCC基準/パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。そのため、高周波エネルギーを放射する可能性があります。指示に従って正しく設置しなかった場合、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。

本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていると確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください。

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続と異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線またはテレビ技術者へのお問い合わせ。

注意

シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会が許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC/パート15に準拠しています。運転は、以下の2つの状況を前提とします。

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意

カナダにお住まいのユーザーへ

クラスB放出限度

このクラスBデジタル装置は、カナダの干渉発生機器規制のすべての要件を満足します。

当Class B デジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国への適合宣言

- EMC 指令2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

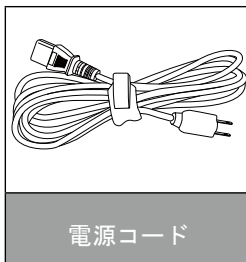
当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。

汚染を最小限に抑え、最大限地球環境を保護するために、リサイクルしてください。

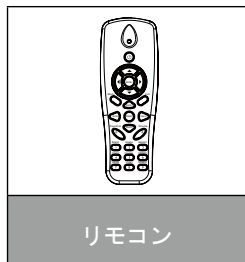
パッケージの概要

慎重に箱から取り出し、下記の〔標準付属品〕に記載されている品目が揃っていることを確認します。

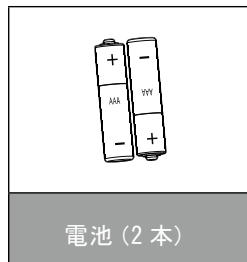
標準付属品



電源コード



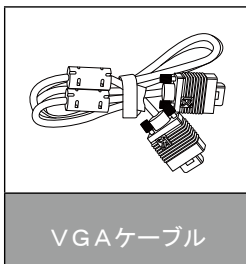
リモコン



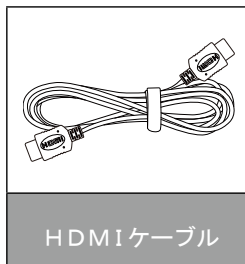
電池 (2 本)

注記

※ライトカーテンタッチモジュールについては、別冊の「ライトカーテンタッチモジュール設置組立説明書」を参照してください。



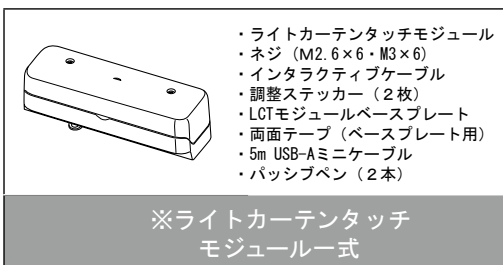
VGAケーブル



HDMIケーブル

- ☒ 取扱説明書
- ☒ ライトカーテンタッチモジュール設置組立説明書
- ☒ ライトカーテンタッチモジュールインストールCD

文書



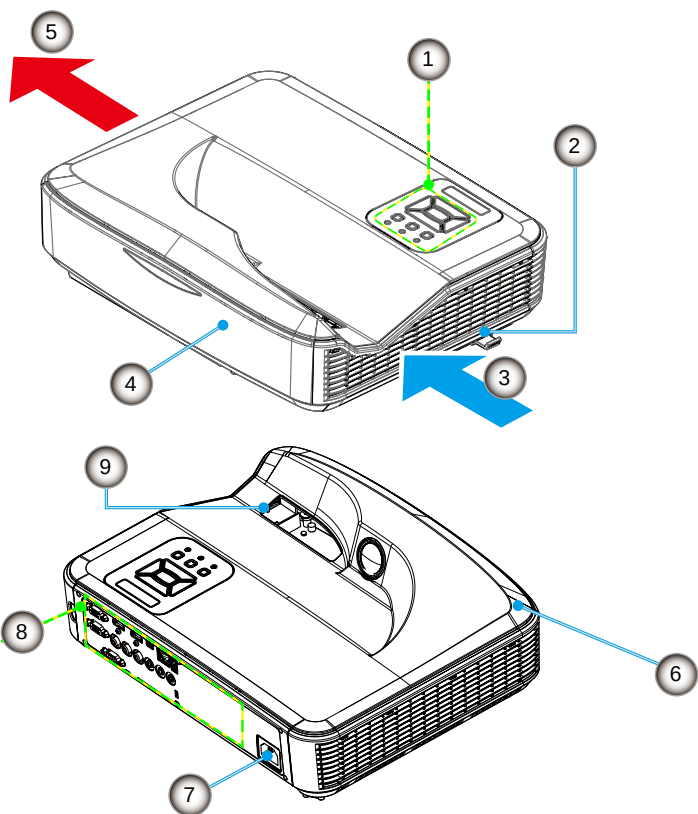
- ・ライトカーテンタッチモジュール
- ・ネジ (M2.6×6・M3×6)
- ・インタラクティブケーブル
- ・調整ステッカー (2枚)
- ・LCTモジュールベースプレート
- ・両面テープ (ベースプレート用)
- ・5m USB-Aミニケーブル
- ・パシプペン (2本)

※ライトカーテンタッチモジュール一式

はじめに

製品の各部名称

メインユニット



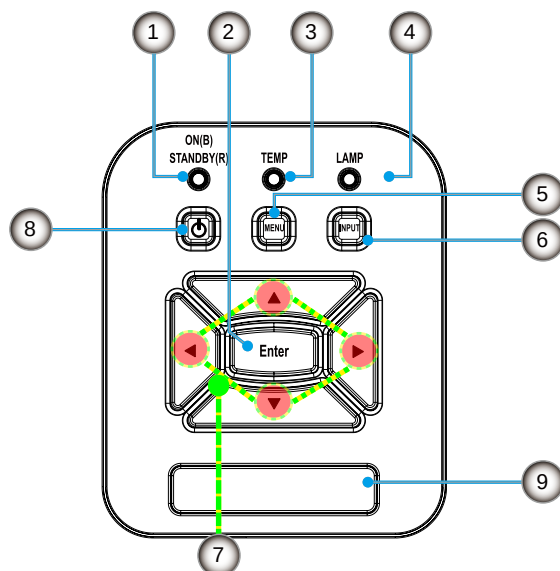
注記

※インターフェースは本モデルの仕様に依存します。

※プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. コントロールパネル | 6. スピーカー |
| 2. フォーカススイッチ | 7. 電源ソケット |
| 3. 通気口（吸気） | 8. 入／出力接続 |
| 4. IR レシーバー | 9. レンズ |
| 5. 通気口（排気） | |

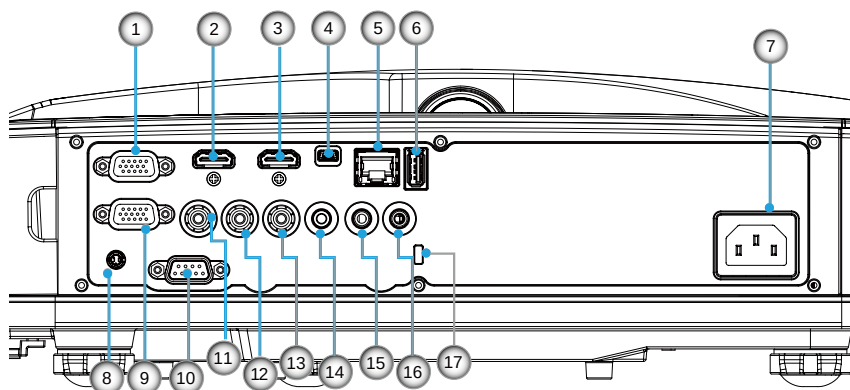
コントロールパネル



1. 電源 (Power) / スタンバイ (Standby) LED
2. エンター (Enter)
3. 温度 (Temp) LED
4. ランプ (Lamp) LED
5. メニュー (Menu)
6. 入力 (Input)
7. 4方向選択キー
8. 電源 / スタンバイボタン (Power / Standby)
9. IR レシーバー

はじめに

接続



注記

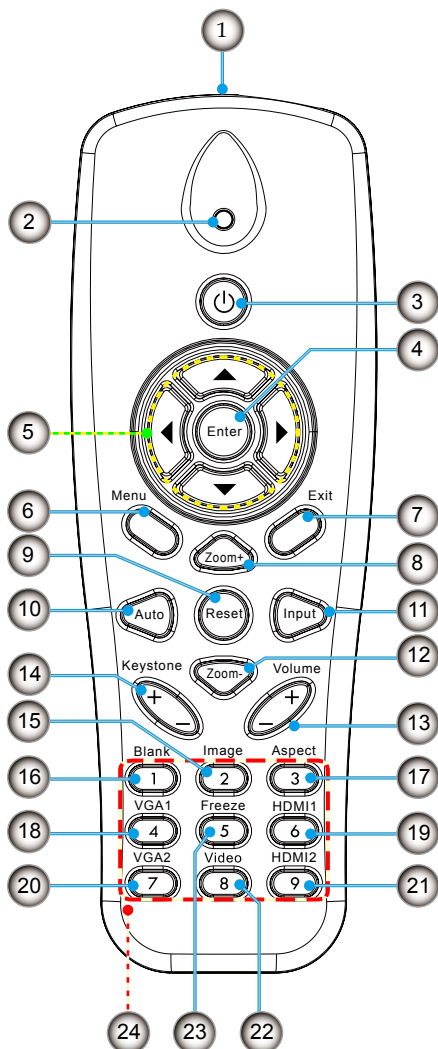
※インターフェースは本モデルの仕様に依存します。

注記

※モニターケーブルは、VGA1-In / YPbPrでのみサポートされます。

1. VGA1- 入力 / YPbPr コネクター
(PC アナログ信号 / コンポーネントビデオ入力 / HDTV / YPbPr 用)
2. HDMI2 / MHL 入力コネクター
3. HDMI1 入力コネクター
4. USB コネクター (PC に接続 (リモートマウス機能向け))
5. RJ45 コネクター
6. USB タイプ A コネクター
7. 電源ソケット
8. インタラクティブコネクター (3.5 mm ミニジャック)
9. VGA2 入力 / VGA 出力コネクター
10. RS-232 コネクター (9 ピン DIN タイプ)
11. コンポジットビデオ入力コネクター
12. コンポジットオーディオ入力 (右) コネクター
13. コンポジットオーディオ入力 (左) コネクター
14. 音声出力コネクター (3.5 mm ミニジャック)
15. 音声入力コネクター (3.5 mm ミニジャック)
16. 音声入力コネクター (マイク)
17. Kensington™ ロックポート

リモコン

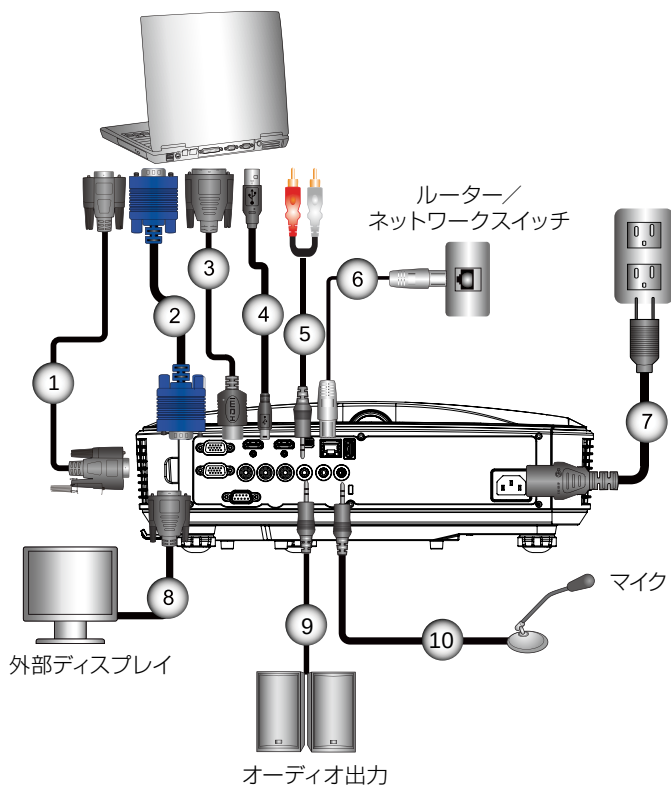


1. 赤外線トランスミッター
2. LED インジケター
3. 電源 (Power) オン/オフ
4. エンター (Enter)
5. 4 方向選択キー
6. メニュー (Menu)
7. 終了 (Exit)
8. ズームイン (Zoom +)
9. リセット (Reset)
10. 自動 (Auto)
11. 入力ソース (Input)
12. ズームアウト (Zoom -)
13. 音量 (Volume +/ -)
14. キーストーン
(Keystone +/ -)
15. 画像 (Image)
16. ブランクスクリーン
(Blankscreen)
17. 縦横比 (Aspect)
18. VGA1
19. HDMI1
20. VGA2
21. HDMI2
22. ビデオ (Video)
23. 画面フリーズ (Freeze)
24. 数字ボタン

設置方法

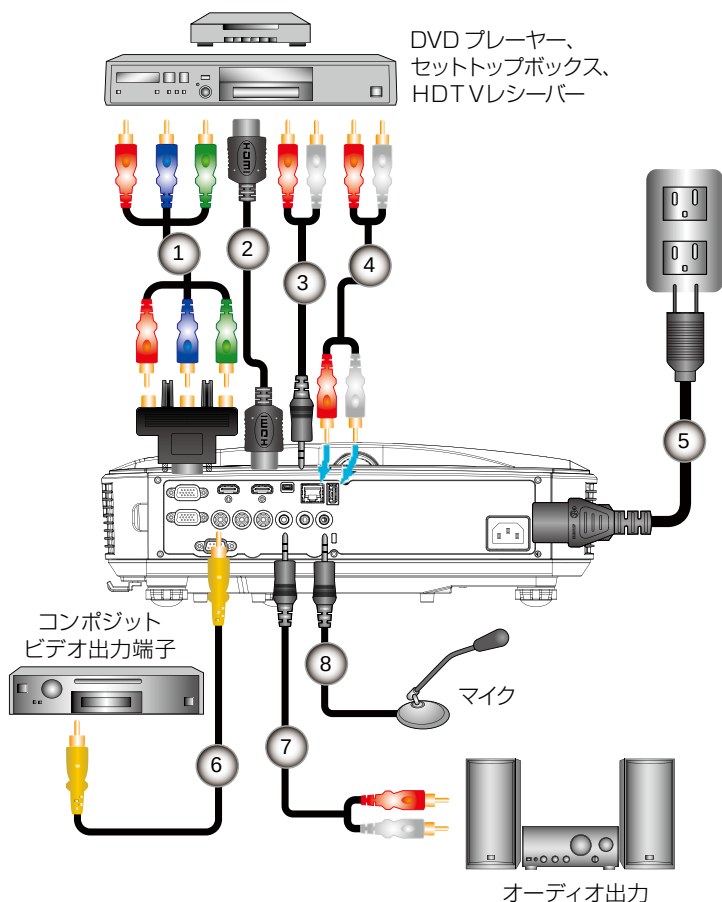
プロジェクターの接続

コンピューター／ノートパソコンへの接続



1. RS-232 ケーブル
2. VGA ケーブル
3. HDMI ケーブル
4. USB ケーブル
5. 音声ケーブル / RCA
6. RJ45 ケーブル
7. 電源コード
8. VGA 出力ケーブル
9. 音声出力ケーブル
10. 音声入力ケーブル

ビデオソースへの接続



- | | | |
|---|-------|---------------------------------|
| 1 | | 15 ピン 3RCA コンポーネント / HDTV アダプター |
| 2 | | HDMI ケーブル |
| 3 | | 音声ケーブル |
| 4 | | 音声ケーブル / RCA |
| 5 | | 電源コード |
| 6 | | コンポジットビデオケーブル |
| 7 | | 音声ケーブル / RCA |
| 8 | | 音声入力ケーブル |

設置方法

プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

1. 電源コードと信号ケーブルをしっかりと接続します。
接続すると、電源/スタンバイ LED が赤色に点灯します。

注記

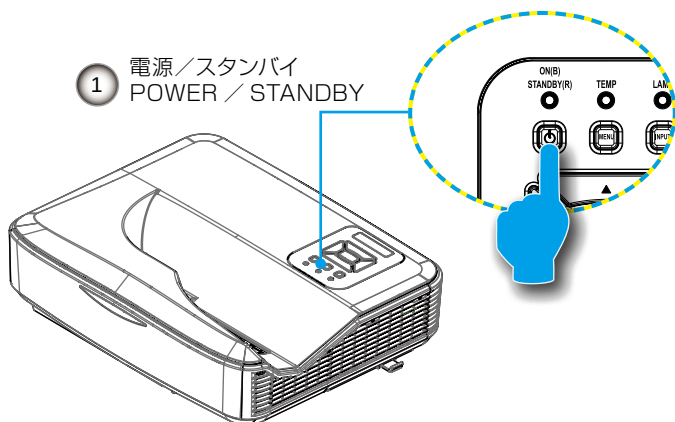
※電力モードがスタンバイ（待機）モード（消費電力が 0.5W 未満）にあるときにプロジェクターが待機状態になると、VGA 出力/入力とオーディオが動作を停止します。

2. プロジェクターまたはリモコンの「」ボタンを押すとランプが点灯します。この時点で、電源/スタンバイ LED が青色に点灯します。①
起動画面は約 10 秒後に表示されます。
3. スクリーンに表示させたい（コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど）ソースの電源を入れてください。プロジェクターは自動的にソースを検出します。検出されない場合は、メニューボタンを押して「オプション」を開きます。
「自動ソース」が「オン」になっていることを確認します。

※ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの「入力」ボタンを押すか、またはリモコンの「入力」ボタンを押すと、入力を切り換えることができます。

注記

※まず、プロジェクターの電源を入れた後、入力ソースを選択します。



プロジェクターの電源を切る

1. リモコンまたはコントロールパネルの「**⏻**」ボタンを押して、プロジェクターの電源をオフにします。画面上に下記のメッセージが表示されます。



確定のためにもう一度「**⏻**」ボタンを押してください。これを行わないと、10 秒後にメッセージが消えます。「**⏻**」ボタンを二回押すと、ファンは冷却を開始し、システムはシャットダウンされます。

2. 冷却ファンが冷却サイクルとして約 4 秒間作動し続け、電源／スタンバイ LED が赤色に点滅します。電源／スタンバイ LED が赤色に点灯したら、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れたい場合は、プロジェクターが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、「**⏻**」ボタンを押すだけでプロジェクターを立ち上げることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。

インジケーター

インジケーター（以下を参照）がオンになると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。

注記

※プロジェクターにこのような症状が現れた場合は最寄りの販売店またはコンタクトセンターまでご連絡ください。

※「ランプ (LAMP)」LED インジケーターが赤く点灯し、「電源／スタンバイ」インジケーターが黄色に点滅している場合。
「温度 (TEMP)」LED インジケーターが赤色で点灯します。
これはプロジェクターが過熱状態にあることを示しています。
通常の状況では、プロジェクターを再度オンすることができます。

※「温度 (TEMP)」LED インジケーターが赤く点滅し「電源／スタンバイ」インジケーターが黄色に点滅している場合。
プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行してください。
上記のインジケーターが再び点灯したら、最寄りの販売店またはコンタクトセンターに連絡し、対処方法をおたずねください。

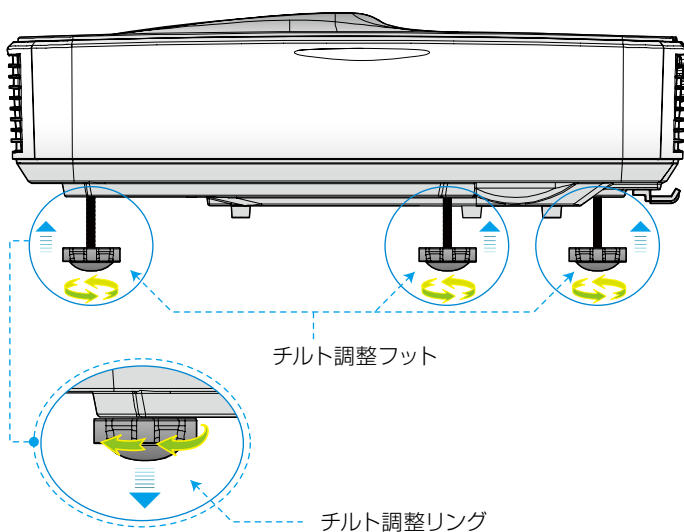
設置方法

投影画像の調整

プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットが付いています。

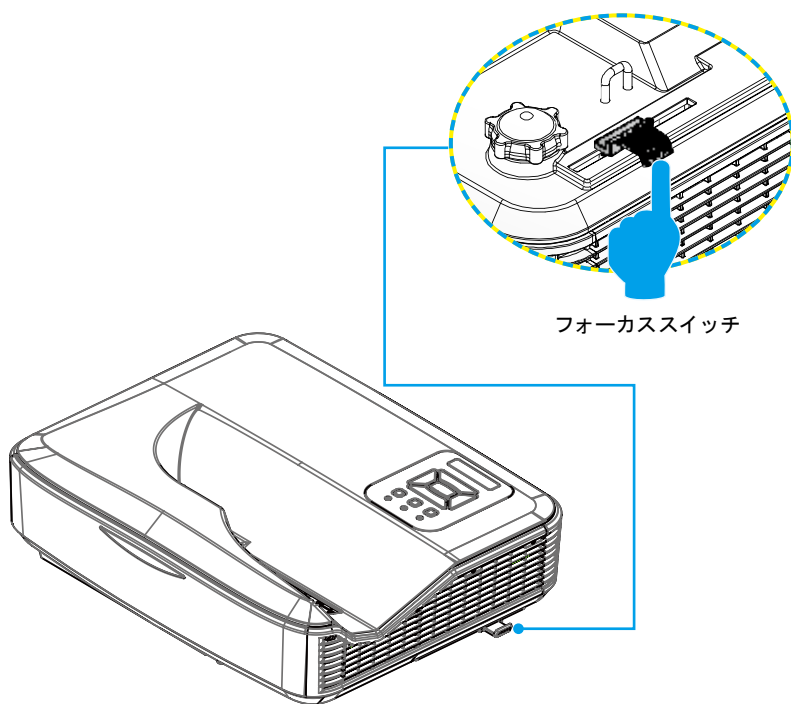
1. プロジェクター底面の、高さを調整したい調整フットを決めます。
2. チルト調整リングを時計方向または反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



プロジェクターのフォーカスを調整する

映像のフォーカスを合わせるには、明瞭な映像になるまでフォーカススイッチを左／右にスライドさせます。

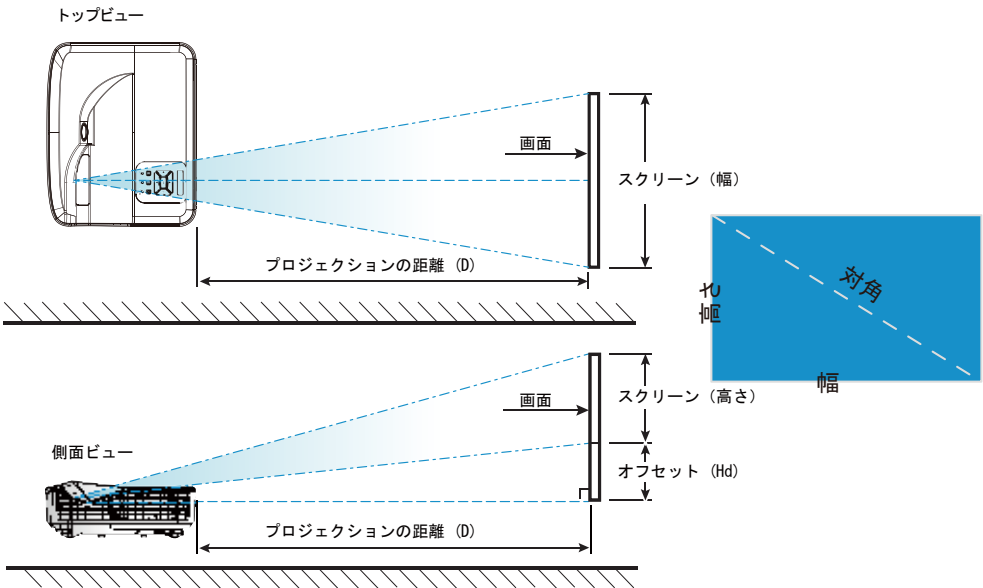
※ウルトラワイドシリーズ：このプロジェクターのフォーカス合わせの距離
(超ワイド) (プロジェクター前面から壁まで)は0.47～0.58メートル
の範囲です。



設置方法

イメージサイズと投写距離

※ウルトラワイドシリーズ：このプロジェクターのイメージサイズは
120 インチ～ 140 インチの範囲です。



ウルトラワイド (超ワイド)

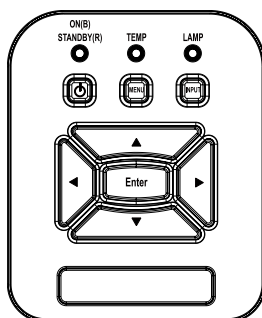
(16:6) 画面の対角 長さサイズ	イメージサイズ幅 x 高さ		投写距離 (D)		オフセット (Hd)
	(mm)		(mm)		
	幅	高さ	最短(ワイド)	最長(テレ)	(mm)
120	2854	1070	465	なし	369
125	2973	1115	495	なし	382
130	3092	1159	524	なし	395
135	3211	1204	554	なし	408
140	3330	1249	584	なし	420

※表の値は、参考値です。

ユーザーコントロール

コントロールパネルおよびリモコン

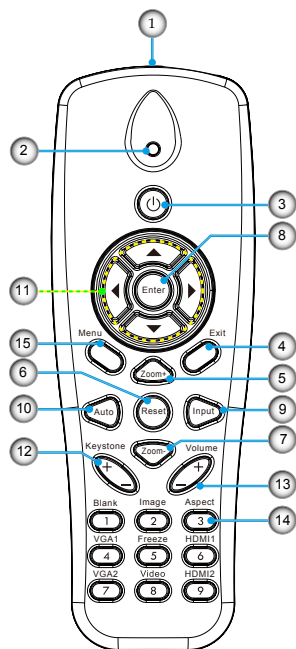
コントロールパネル



コントロールパネルの使用

電源 (Power)		14 ～ 15 ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
エンター (Enter)		項目選択を確定します。
入力 (Input)		入力信号を選択します。
メニュー (Menu)		オンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度「メニュー」を押します。
4 方向選択キー		▲▼◀▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
ランプ (LAMP) LED		プロジェクターの光源の状態を示す LED インジケータを確認します。
温度 (TEMP) LED		プロジェクターの温度の状態を示す LED インジケータを確認します。
オン/スタンバイ (ON / STANDBY) LED		プロジェクターの出力の状態を示す LED インジケータを確認します。

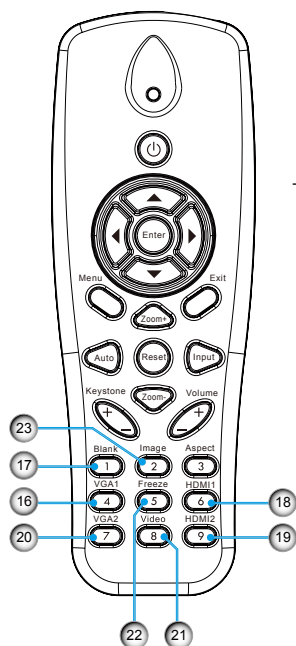
リモコン



リモコンの使用

- | | |
|------------------------|---|
| ①赤外線トランスミッター | プロジェクターに信号を送信します。 |
| ②LED | LED インジケーター。 |
| ③電源 (Power) | 14 ~ 15 ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。 |
| ④終了 (Exit) | 「終了」を押して OSDメニューを閉じます。 |
| ⑤ズームイン (Zoom +) | プロジェクター画面をズームインします。 |
| ⑥リセット (Reset) | 調整と設定を出荷時設定値に戻します。 |
| ⑦ズームアウト (Zoom -) | プロジェクター画面をズームアウトします。 |
| ⑧エンター (Enter) | 選択した項目を確定します。 |
| ⑨入力 (Input) | 「入力 (Input)」を押して入力信号を選択します。 |
| ⑩自動 (Auto) | プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。 |
| ⑪ 4 方向選択キー | ▲▼◆を使用して項目を選択するか、 選択に合わせて調整を行います。 |
| ⑫キーストーン (Keystone +/ー) | プロジェクターを斜め方向から投影することにより生じる画像ゆがみを調整します。 |
| ⑬音量 (Volume +/ー) | 音量の増減を調整します。 |
| ⑭縦横比 (Aspect) | ここで、好みのアスペクト比を選択します。 |
| ⑮メニュー (Menu) | 「メニュー」を押してオンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度「メニュー」を押します。 |

ユーザーコントロール



リモコンの使用

- | | |
|------------------|--|
| ①⑥ VGA1 | 「VGA1」を押して VGA IN1 コネクターを選択します。 |
| ①⑦ ブランク (Blank) | オーディオおよびビデオを一時的にオフ/オンします。(ブランクスクリーンのオン/オフ)。 |
| ①⑧ HDMI1 | 「HDMI1」を押して HDMI IN1 コネクターを選択します。 |
| ①⑨ HDMI2 | 「HDMI2」を押して HDMI IN2 コネクターを選択します。 |
| ②⑩ VGA2 | 「VGA2」を押して VGA IN 2 コネクターを選択します。 |
| ②⑪ ビデオ (Video) | 「ビデオ」を押してコンポジットビデオソースを選択します。 |
| ②② フリーズ (Freeze) | 投影画面を一時停止させます。
再度押すと再開します。 |
| ②③ 画像 (Image) | 「画像」を押してピクチャーモードを選択します。 |

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

操作方法

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターキーパッドの「メニュー (Menu)」ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、▲▼キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▶または「エンター」キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ▲▼キーを使って目的の項目を選択し、◀▶キーを使用して設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「エンター (Enter)」ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度「メニュー」ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じられ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



ユーザーコントロール

ピクチャー



ピクチャーモード

様々なタイプの画像用に最適化された多くのコンテンツがあります。

◀または▶ボタンを使って項目を選択します。

- 明るさ：輝度の最適化用。
- PC：会議でのプレゼンテーション用。
- 映画：ビデオコンテンツの再生用。
- ゲーム：ゲームコンテンツ用・ブレンディング：ブレンディング用。
- ブレンディング：ブレンディング用。
- ユーザー：ユーザー設定用。

壁の色

この機能を使用すると壁の色に応じて最適な映像が得られます。「白」、「ライトイエロー」、「ライトブルー」、「ピンク」および「ダークグリーン」から選択できます。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀ボタンを押すと、画像が暗くなります。
- ▶ボタンを押すと、画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差を調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ◀ボタンを押すと、コントラストが減少します。
- ▶ボタンを押すと、コントラストが増加します。

注記

※「鮮明度」「彩度」と「色合い」機能は、ビデオモードでのみサポートされます。

鮮明度

画像の鮮明度を調整します。

- ◀ ボタンを押すと、鮮明度が減少します。
- ▶ ボタンを押すと、鮮明度が増加します。

彩 度

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀ ボタンを押すと、画像の彩度が減少します。
- ▶ ボタンを押すと、画像の彩度が増加します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀ ボタンを押すと、画像の緑の量が増加します。
- ▶ ボタンを押すと、画像の赤の量が増加します。

γ (ガンマ)

これによってガンマ値を調整して入力に対して良好な映像コントラストを得ることができます。

色温度

これによって色温度を調整できます。より高い温度で、画面は寒色系に見え、低い温度で画面は暖色系に見えます。

色設定

個々の赤・緑・青・シアン・マゼンダおよび黄色の詳細な調整に、これらを使用します。

ユーザーコントロール

スクリーン



縦横比

- 自動 : 画像本来の幅と高さ比を保持しつつ、ネイティブな水平または垂直ピクセルに合わせて最大表示します。
- 4:3 : 画像は 4:3 の比率で画面に合わせて表示されます。
- 16:9 : 映像は 16:9 の比率でスクリーンの高さに合わせて幅も調整され表示されます。
- 超ワイド : 画像は 16:6 の比率でスクリーンの高さに合わせて幅も調整され表示されます。

注記

※「水平位置」「垂直位置」「位相」と「クロック周波数」の範囲は、入力ソースに依存します。

位相

表示の信号タイミングをグラフィックカードと同期させます。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

クロック周波数

映像に垂直フリッカーが生じるときに最適な映像が得られるように調整します。

水平位置

- ◀ボタンを押すと、画像が左に移動します。
- ▶ボタンを押すと、画像が右に移動します。

垂直位置

- ◀ボタンを押すと、画像が下に移動します。
- ▶ボタンを押すと、画像が上に移動します。

デジタルズーム

- ◀ボタンを押すと、画像のサイズが縮小されます。
- ▶ボタンを押すと、画像のサイズが拡大されます。

垂直キーストーン

◀または▶ボタンを押すと、垂直方向の画像を調節します。
画像が台形に見える場合は、このオプションにより画像を長方形にすることができます。

天井（投影方向）

- 前 面（フロント）：画像は直接スクリーンに投影されます。
- 前面天井（フロント天吊）：これがデフォルトの選択です。
選択されると画像は上下逆向きに表示されます。
- 背 面（リア）：選択されると、画像を左右逆向きに表示します。
- 背面天井（リア天吊）：選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。

ユーザーコントロール

設定



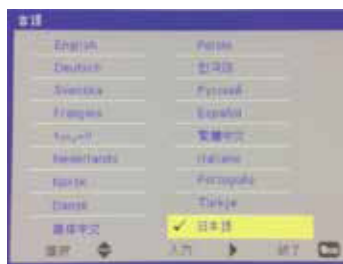
言語

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。

◀または▶ボタンを押してサブメニューに移動してから、

▲または▼ボタンを使ってご使用される言語を選んでください。

リモコンの▶ボタンを押すと、選択が確定されます。



メニュー位置

表示スクリーンでメニュー位置を選択します。

クローズドキャプション

この機能を使うとクローズドキャプションメニューが有効になります。

以下の中から適切なクローズドキャプションのオプションを選択します。

：オフ、CC1、CC2、CC3 と CC4。

VGA Out (スタンバイ)

「オン」を選ぶとVGA出力接続が有効になります。

注記

※「クローズドキャプション」機能は入力ソースによってサポートされます。

LAN (スタンバイ)

- 「オン」を選ぶと LAN 接続が有効になります。
- 「オフ」を選ぶと LAN 接続が無効になります。

VGA-2 (機能)

- 入力: 「入力」を選択すると、VGA ポートが VGA 入力機能として動作可能な状態になります。
- 出力: プロジェクターの電源を入れた後、「出力」を選択すると VGA 出力機能が有効になります。

テストパターン

テストパターンを表示します。

リセット

「はい」を選択するとすべてのメニューのパラメータが工場出荷時の設定に戻ります。

ユーザーコントロール

ボリューム



スピーカー

- 「オン」を選ぶとスピーカーが有効になります。
- 「オフ」を選ぶとスピーカーが無効になります。

ライン出力

- 「オン」を選択すると、ライン出力機能が有効になります。
- 「オフ」を選択すると、ライン出力機能が無効になります。

マイク

- 「オン」を選ぶとマイクが有効になります。
- 「オフ」を選ぶとマイクが無効になります。

消音

- 「オン」を選ぶと消音が有効となります。
- 「オフ」を選ぶと消音が無効となります。

ボリューム

- ◀ボタンを押すと、音量が下がります。
- ▶ボタンを押すと、音量が上がります。

マイク音量

- ◀ボタンを押すと、マイク音量が下がります。
- ▶ボタンを押すと、マイク音量が上がります。

オプション



ロゴ

この機能を使用して、必要なスタートアップ画面を設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- デフォルト：デフォルトの起動画面です。
- ユーザー：「ロゴキャプチャー」機能で保存された画像を使用します。

注記

※「ロゴキャプチャー」を成功させるには、スクリーン上の画像がプロジェクターのネイティブ解像度を超えないように注意してください。
(WXGA: 1280x800)

※「ロゴキャプチャー」は、3D有効時には利用できません。

※この機能を有効にする前に、「縦横比」を「自動」に設定するようお勧めします。

ロゴキャプチャー

▶ボタンを押すと、現在スクリーンに表示されている画像のイメージがキャプチャーされます。

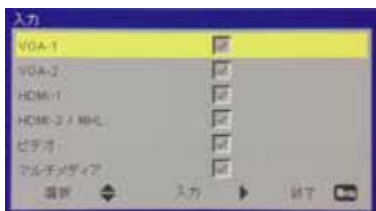


自動ソース

- オン：現在の入力信号が失われた場合、プロジェクターは他の信号を検索します。
- オフ：プロジェクターは、現在の入力接続のみを検索します。

入力

▶ボタンを押すと、入力ソースが有効化／無効化されます。プロジェクターは選択されていない入力を検知しません。



ユーザーコントロール

自動電源オフ (分)

秒読みタイマーの間隔を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。プロジェクターは、自動的に秒読み完了後 (数分で) 電源を切ります。

ランプ設定

次ページの「ランプの設定」をご参照ください。

高 度

- オン: 内蔵ファンは高速回転します。このオプションは、海拔 762 メートルを超える場所でプロジェクターを使用する際に選択します。
- オフ: 内蔵ファンは、内部温度によって自動的に様々な速度で動作します。

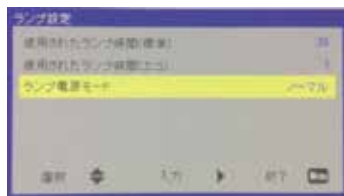
フィルターリマインダー (時間)

- フィルターリマインダー (時間): フィルターリマインダー時間を設定します。
- リマインダーの削除: ダストフィルターの交換または清掃の後に、「はい」を選んでダストフィルター時間数カウンターをリセットします。
▶を選択し、「はい」を選択します。

情 報

スクリーンにモデル名、SNID、ソース、解像度、ソフトウェアバージョンおよび縦横比といったプロジェクター情報が表示されます。

ランプの設定



使用されたランプ時間 (標準)

通常モードでの投影時間が表示されます。

使用されたランプ時間 (エコ)

エコモードでの投影時間が表示されます。

ランプ電源モード

- ノーマル：電源モードをノーマルに設定します。
- エコ：電源モードをエコに設定します。
この機能を使うとプロジェクターのレーザーダイオードの光量を減らして、電力消費を低減し、レーザーダイオードの寿命を伸ばすことができます。

ユーザーコントロール

3D



注記

※「フレームシー
ケンス」は、
VGA / HDMI
コネクターから
のDLP Link
3D入力に対応
します。

※「フレームシー
ケンス」／
「フィールドシー
ケンス」は、コ
ンポジット／S
ビデオコネク
ターからの HQFS
3D 入力 信号に
対応します。

※「フレームバック」／「サイドバイサイド(ハーフ)」／「トップアンドボトム」は、HDMI 1.4a 3D入力信号に対応します。

3D

- 自動: HDMI 1.4a 3D タイミング識別信号が検出されると、3D 画像が自動的に選択されます。
- 「オン」を選ぶと 3D 機能が有効になります。
- 「オフ」を選ぶと 3D 機能が無効になります。

3D 反轉

DLP 3D グラス着用中にディスクリートまたはオーバーラップ画像を見る場合、正しい画像を表示するには「逆転」を実行して左右画像の最適なシーケンスを得る必要があります。

3D 映像フォーマット

この機能で3D形式を選択します。オプションは以下の通りです。「フレイムパック」、「サイドバイサイド(ハーフ)」、「トップアンドボトム」、「フレイムシーケンス」および「フィールドシーケンス」です。

1080p @ 24

この機能は 1080p@24 フレーム圧縮モードで 3D グラスを着用して、96 または 144 Hz リフレッシュレートを選択するのに使用します。

対話型

注記

※ 対話型機能は表示するグラフィックソースが HDMI / VGA 入力の際に利用できません。他のソースには対応していません。

※ 「3D」機能が有効になると、「対話型」機能は無効になります。



対話式設定

● 「オン」を選ぶと対話機能が有効になります。

● 「オフ」を選ぶと対話機能が無効になります。

Mini USB ケーブルを使用して PC / ラップトップパソコンとプロジェクターを接続します。対話機能を使用する前に接続します。OSD で対話機能の設定を完了した後に、Mini USB ケーブルを使用して NB / ディスクトップパソコンをプロジェクターに接続してください。

IR ペン (パッシブペン)

使用上のご注意

このユーザーマニュアルで推奨されたすべての警告、安全上の注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

安全上のご注意

プロジェクターについている IR カメラは IR ペンから照射される赤外線信号を受信します。

正常に動作させるには

- ・ IR カメラを壁上の投影映像に向ける必要があります。
- ・ IR カメラと投影映像との間にある障害物を取り除きます。
- ・ 他の赤外線通信装置、照明機器、住宅用暖房器具などを近くに置かないでください。
- ・ 同梱の USB ケーブル (最大 : 5m) を使用してください。
- ・ USB ケーブルを 5m 以上に延長するには、認定済み アクティブエクステンション USB ケーブルが必要です。

ユーザーコントロール

LAN



ステータス

ネットワーク接続状態を表示します。

DHCP

DHCP 設定を行います。

- オン:「オン」を選択すると、プロジェクターがネットワークから IP アドレスを自動的に取得できるようになります。
- オフ:「オフ」を選択すると、IP、サブネットマスク、ゲートウェイおよび DNS 構成を手動で割当てることができます。

注記

※ IP、サブネットマスク、ゲートウェイおよび DNS のコンフィギュレーションの割り当てについてはウェブ制御ページにアクセスしてください。ウェブ制御ページへのアクセス方法については 38 ページを参照してください。

IPアドレス

1 Pアドレスを表示します。

サブネットマスク

サブネットマスク番号を選択します。

ゲートウェイ

プロジェクトに接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイを表示します。

DNS

DNS 番号を表示します。

MAC アドレス

MAC アドレスを表示します。

グループ名

グループ名を表示します。

プロジェクター名

プロジェクター名を表示します。

位 置

プロジェクターの位置を表示します。

連絡先

問い合わせ先情報を表示します。

ユーザーコントロール

ウェブブラウザを使用してプロジェクターを制御する方法

1. DHCP をオンにすると、DHCP サーバーが自動的に IP を割り当てます。また必要なネットワーク情報を手動で入力できます。



2. 適用を選択し、OK ボタンを押して構成プロセスを完了します。
3. ウェブブラウザを開いて OSD LAN 画面から IP アドレスを入力すると、ウェブページに以下が表示されます。



注記

※プロジェクターの IP アドレスを使用した場合、サービスサーバにリンクすることはできません。

4. [ツール] タブの入力文字列のネットワークウェブページに基づき、入力長さの制限は以下のリストの通りとなります（「スペース」およびその他の句読点キーを含む）。

Category	Item	Input-Length (characters)
Crestron Control	IP Address	15
	IP ID	2
	Port	5
Projector	Projector Name	10
	Location	9
	Assigned To	9
Network Configuration	DHCP (Enabled)	(N/A)
	IP Address	15
	Subnet Mask	15
	Default Gateway	15
	DNS Server	15
User Password	Enabled	(N/A)
	New Password	15
	Confirm	15
Admin Password	Enabled	(N/A)
	New Password	15
	Confirm	15



ユーザーコントロール

制御デバイスでウェブブラウザを介してプロジェクターを遠隔でコントロールすることができます。直接またはネットワーク経由で接続できます。

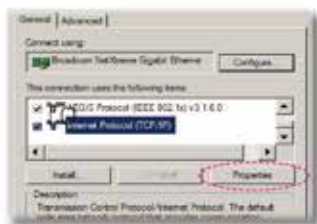
ステップ 1: 下記のとおりプロジェクターの LAN 機能から IP アドレスを見つけます。



ステップ 2: 適用を選択し「エンター」ボタンを押して機能を送信するか、「メニュー」キーを押して終了します。

ステップ 3: ネットワーク接続を開始するには、**スタート、コントロールパネル、ネットワークとインターネット接続の順に**クリックし、**ネットワーク接続**をクリックします。設定したい接続をクリックし、**ネットワークタスク** から、この接続の**設定を変更する**をクリックします。

ステップ 4: 全般タブのこの接続は次の項目を使用しますから**インターネットプロトコル (TCP/IP)**を選択し「プロパティ」をクリックします。



ステップ 5: **次の IP アドレスを使う**をクリックしてから下記のように入力します。
(例)

- 1) IP アドレス : 192.168.1.100
- 2) サブネットマスク : 255.255.255.0
- 3) デフォルトゲートウェイ : 192.168.0.254

注記

※お使いのバージョンによって画面が変わります。



ステップ 6: インターネットオプションを開くには、**IE ウェブブラウザ**で、**インターネットオプション**をクリックし、**接続**タブをクリックし、「**LAN の設定...**」をクリックします。



ステップ 7: **ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定**ダイアログボックスが表示されます。**プロキシサーバー**項目の**LAN にプロキシサーバーを使用する**チェックボックスのチェックを外してから「**OK**」ボタンを**2 回**クリックします。



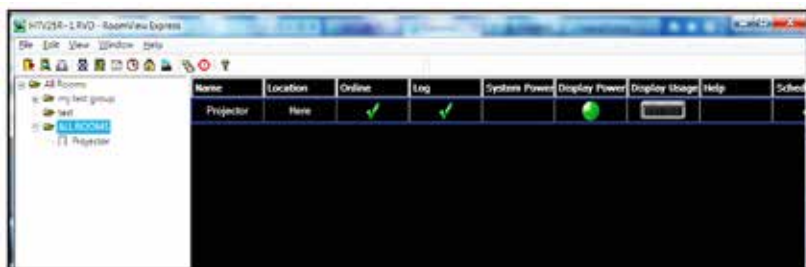
ステップ 8: ウェブブラウザを開いて、**URL に IP アドレス**を入力し「**エンター**」を押します。

ユーザーコントロール

Crestron RoomView : 制御ツール

制御ツール (Crestron RoomView™) は、1 つのイーサネットネットワーク (複数も可。その数は IP ID と IP アドレスの組み合わせにより決まる) 上の 250 以上の制御システムの中央監視ステーションを提供します。制御ツール (Crestron RoomView) は各プロジェクターを監視します(プロジェクターのオンライン状態、システム電源、ランプ寿命、ネットワーク設定およびハードウェア障害、加えて管理者により定義された任意のカスタム属性を含む)。管理者はすべての利用者についてソフトウェアにより自動的に記録される部屋情報、連絡先情報およびイベントを追加、削除または編集することができます。(操作 UI は以下の画像の通りです)

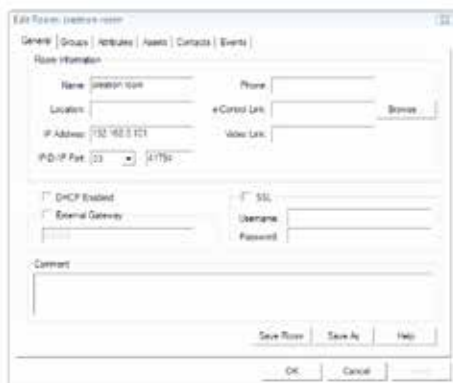
1. メイン画面



2. 部屋の編集

注記

※制御ツール (Crestron RoomView) の機能は製品のモデルおよび仕様に依りて設定されます。



3. 属性の編集



4. イベントの編集



詳細については以下を参照してください。

<http://www.crestron.com> & www.crestron.com/getroomview.

マルチメディア

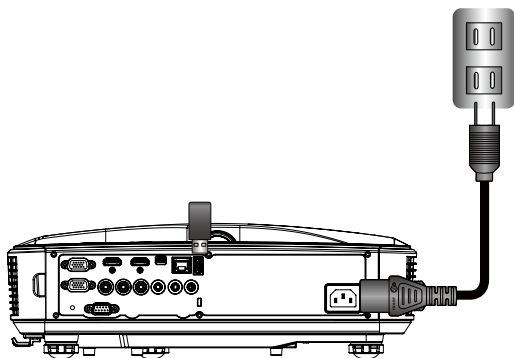
マルチメディアファイルへのアクセス

このプロジェクターは以下のデバイスに保存されたメディアファイル（写真、ビデオ、音楽、文書）を映写する 方法に対応しています。

- ・ USB フラッシュドライブによる場合：
デバイスに保存されたメディアファイルに直接アクセスします。

マルチメディアモードへアクセスする方法

1. USB フラッシュドライブをプロジェクターの背面に付いている USB コネクターに差し込みます。



2. リモコンまたはコントロールパネルの「入力 (Input)」を押してから、▲ ▼ キーを押し、「マルチメディア」と「エンター」キーを選択して確定します。

モバイルのディスプレイ（日本では対応していません。）

モバイル機器またはタブレット PC に保存されたメディアファイルにアクセスするには以下を実施してください。

1. マルチメディアメニューで**モバイル/タブレット**を選択します。



2. モバイル機器またはタブレット PC に App Store (iOS) または Play Store (Android) の「EZview」アプリケーションをダウンロードします。



3. モバイル機器またはタブレット PC の Wi-Fi 機能を有効にして、Wi-Fi ネットワークリストに表示された AP 名を検索します。
4. 初回接続時にはパスワードを入力するよう指示されます。パスワードを入力します。
5. 「EZview」アプリケーションを立ち上げ、PCTOOL パスワードを入力します。
6. 接続が確立されるのを待ちます。
プロジェクターを使用してモバイル機器またはタブレット PC 上のメディアファイルにアクセスすることができます。

マルチメディア

ラップトップのディスプレイ（日本では対応していません。）

ラップトップ/ノートブックに保存されたメディアファイルにアクセスするには以下を実施してください。

1. マルチメディアメニューでラップトップを選択します。



2. ラップトップ/ノートブックの Wi-Fi 機能を有効にして、Wi-Fi ネットワークリストに表示された AP 名を検索します。

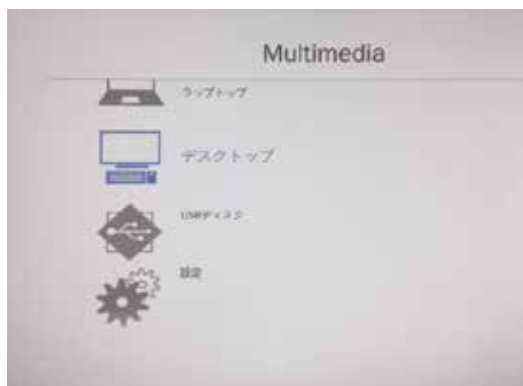


3. 初回接続時にはパスワードを入力するよう指示されます。
パスワードを入力します。
4. ウェブブラウザを開いて IP アドレスを入力します。
次に画面左側の「Wifi」を選択して、オペレーションシステムが要求するアプリケーションをインストールします。
5. 「EZview」アプリケーションを立ち上げ、画面右下に表示される制御コードを入力します。
6. 接続が確立されるのを待ちます。
プロジェクターを使用してラップトップ/ノートブック上のメディアファイルにアクセスすることができます。

デスクトップのディスプレイ（日本では対応していません。）

デスクトップに保存されたメディアファイルにアクセスするには以下を実施してください。

1. マルチメディアメニューでデスクトップを選択します。



2. ウェブブラウザを開いて IP アドレスを入力します。
次に画面左側の「Wifi」を選択して、オペレーションシステムが要求するアプリケーションをインストールします。



3. 「EZview」アプリケーションを立ち上げ、画面右下に表示される制御コードを入力します。
4. 接続が確立されるのを待ちます。
プロジェクターを使用してデスクトップ上のメディアファイルにアクセスすることができます。

マルチメディア

USBストレージ表示

USBフラッシュドライブに保存されたメディアファイルにアクセスするには、下記を行います。

サポートされるファイルフォーマット

マルチメディアカテゴリ	ファイル形式
写 真	BMP, JPG, PNG
音 楽	MP3, WMA
ビデオ	AVI, MOV, MP4, RM, RMVB, DAT, MPG, ISO, TS, MKV, VOB, and WMV
ドキュメント	WORD, EXCEL, PPT*, PDF

1. マルチメディアメニューで USB ディスクを選択します。

注記

- ※ PowerPoint のアニメーションには対応していません。
- ※ MMA のサポートリストに関する詳細については付録を参照してください。



2. ▲▼キーを使用してファイルカテゴリーを選択し、「エンター」キーを押します。



3. ▲▼キーを使用して表示／再生しようとするファイルを選択し、「エンター」キーを押します。

マルチメディア設定の構成

設定を変更するには下記を行います。

1. マルデメディアメニューで**設定**を選択します。



マルチメディア

2. ▲▼キーを使用して必要なメニューオプションを選択し、「エンター」キーを押してサブメニューに入ります



- システム：このオプションを選択してファームウェアバージョンを表示し、ファームウェアの更新を行います。
 - ビデオ：このオプションを選択し、表示比率を変更してリピートモードの設定を行います。
 - 写真：このオプションを選択して表示比率、スライドショーパターンおよびスライドショー持続時間の変更を行います。
 - 音楽：このオプションを選択してリピートモードの設定を行います。
 - WiFi：このオプションを選択して Wi-Fi 接続の設定を行います。
(日本では対応していません。)
3. ▲▼キーを使用して設定を調整／選択し、「エンター」キーを押して確定します。

ダストフィルターの取り付けおよび清掃

500 時間の運転毎、または埃の多い環境でプロジェクターを使用する場合は頻繁にダストフィルターを掃除することをお勧めします。

画面に警告メッセージが表示されたときは、下記を行ってダストフィルターを掃除してください。

⚠ 警告 フィルター

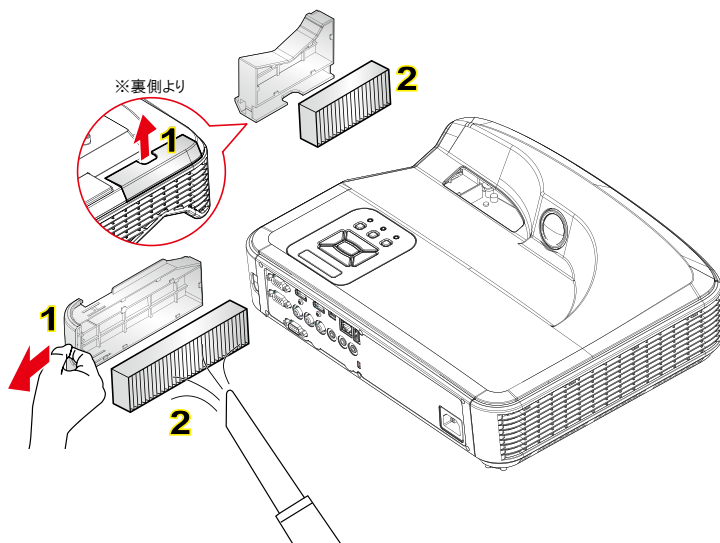


ダストフィルターの使用時間に達しました。

性能を維持するためにフィルターを掃除してください

注記

※適正なメンテナンスによって過熱とプロジェクターの故障を防ぐことができます。



○ ダストフィルターの清掃手順 ○

1. 「**⏻**」 ボタンを押してプロジェクターの電源を切ります。
2. 電源コードを外します。
3. 図に示すとおり、ダストフィルターを引き出します。1
4. ダストフィルターを慎重に取り外します。次に、フィルターを清掃または交換します。2
フィルターを装着するには、上記手順と逆の手順で装着します。
5. ダストフィルター交換後、プロジェクターの電源を入れ、リマインダーの削除でフィルター時間数カウンタをリセットします。(P. 32参照)

サポートされているマルチメディア形式

写真形式

画像タイプ (拡張子名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大サイズ
JPEG	ベースライン	YUV400	8000 x 6000
		YUV420	8000 x 6000
		YUV422	8000 x 6000
		YUV440	8000 x 6000
		YUV444	8000 x 6000
	プログレッシブ	YUV400	W ≤ 10240 & H ≤ 6400
		YUV420	
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
BMP	制限なし	制限なし	制限なし

オーディオ形式

音楽タイプ (拡張子名)	サンプルレート(KHz)	ビットレート(Kbps)
MP1/MP2/MP3	8-48	8-320
WMA	22-48	5-320
OGG	8-48	64-320
ADPCM-WAV	8-48	32-384
PCM-WAV	8-48	128-1536

ビデオ形式

ファイル形式 (拡張子名)	オーディオ/ ビデオ	デコード	最大解像度/ 最大ビットレート	詳 細
.avi .mkv	ビデオ	MJPEG	1080P 30fps /80Mbps	
		H.264/AVC	1080P 30fps /25Mbps	6以上の参照 フレームは サポートして いません。
		XVID	1080P 30fps /30Mbps	
		WMV3 (WMV Ver9)	1080P 30fps /25Mbps	
		MPEG2	1080P 30fps /30Mbps	
		MPEG4	1080P 30fps /30Mbps	
.avi .mkv	ビデオ	VC-1	1080P 30fps /25Mbps	VC1アドバンス プロフィールは サポートしていま せん。
	オーディオ	MPEG-1 Layer I, II		
		MPEG-1 Layer III (mp3)		
		PCM		
		ADPCM		

.ts	ビデオ	MPEG2	1080P 30fps /30Mbps	
		H.264/AVC	1080P 30fps /25Mbps	6以上のリファレンスフレームはサポートしていません。
.ts	ビデオ	MPEG-1 Layer I, II		
		MPEG-1 Layer III (mp3)		
		LPCM		
.dat .vob .mpg .mpeg	ビデオ	MPEG1	1080P 30fps /30Mbps	D-pictureはサポートしていません
		MPEG2	1080P 30fps /30Mbps	
	オーディオ	MPEG-1 Layer I, II		
		MPEG-1 Layer III (mp3)		
		LPCM		
.mov .mp4	ビデオ	MPEG4	1080P 30fps /30Mbps	
		H.264/AVC	1080P 30fps /25Mbps	6以上のリファレンスフレームはサポートしていません。
	オーディオ	AMR		
		PCM		
		ADPCM		

.wmv	ビデオ	WMV3 (WMV Ver9)	1080P 30fps /25Mbps	
	オーディオ	WMA2 (WMA Ver9 &Ver9.1)		WMA Ver9 Pro はサポートして いません。

字幕形式

形 式	フォント	サイズの制限
SRT	UTF-8 / UTF-16	1280x800 8ビットまで
SMI		
SSA/ASS		

注記 字幕形式では、ミックスコードはサポートしていません。

Office Viewer 形式

ファイル形式	サポートバージョン	ページ/行 の形式	サイズの制限	注 意
Adobe PDF	PDF 1.0	最大 1000ページ (1 ファイル)	最大75MB	
	PDF 1.1			
	PDF 1.2			
	PDF 1.3			
	PDF 1.4			
MS PowerPoint	British PowerPoint 97.	最大 1000ページ (1 ファイル)	最大19MB	スライド ショーの 順番は サポート していま せん。
	PowerPoint 2000, 2002, 2003.			
	PowerPoint 2007(.pptx).			
	PowerPoint 2010(.pptx), Office XP PowerPoint.			
	PowerPointプレゼンテー ション2003およびそれ 以前のバージョン(.ppx)			
	PowerPointプレゼンテー ション2007および 2010(.ppx)			

MS Word	British Word95	Office ビューアーは、 MSWord ファイルを 同時に読み 込むわけでは ないため、 ページと行に 明白な制限は ありません。	最大100MB	太字の 中国簡易体 はサポート していません。
	Word97, 2000, 2002, 2003			
	Word 2007 (.docx), 2010 (.docx)			
MS Excel	British Excel 95	行の制限： 最大595	最大15MB	パスワード で保護された シートは サポートして いません。
	Excel 97, 2000, 2002, 2003	行の制限： 最大595		
	Excel 2007 (.xlsx), 2010 (.xlsx)	シート： 最大100		
	Office XP Excel			

注記 上記の制限に1つでも当てはまると表示できません。

容 量

容 量	デバイスのタイプ	ファイルの システム	ファイルと ディレクトリのレベル
内部メモリ	TLC/MLC/SLC 8/12/24/40/60 bit ECC NAND	FAT16, FAT32 NTFS, ExFAT	最大999のディレクトリ と最大9,999のファイル を最大10つのレベルの ディレクトリでサポート しています。
USB	USB Flash,USB-HardDisk		
3Dカード	SDHC,SDXC		

注記 250GB以上のポータブルドライバーには接続しないで下さい。

互換性モード

▶ VGA アナログ

a. PC 信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数 [Hz]
VGA	640x480	60	31.5
	640x480	67	35.0
	640x480	72	37.9
	640x480	75	37.5
	640x480	85	43.3
	640x480	120	61.9
IBM	720x400	70	31.5
SVGA	800x600	56	35.1
	800x600	60	37.9
	800x600	72	48.1
	800x600	75	46.9
	800x600	85	53.7
	800x600	120	77.4
Apple, MAC II	832x624	75	49.1
XGA	1024x768	60	48.4
	1024x768	70	56.5
	1024x768	75	60.0
	1024x768	85	68.7
	1024x768	120	99.0
Apple, MAC II	1152x870	75	68.7
SXGA	1280x1024	60	64.0
	1280x1024	72	77.0
	1280x1024	75	80.0
QuadVGA	1280x960	60	60.0
	1280x960	75	75.2
SXGA+	1400x1050	60	65.3
UXGA	1600x1200	60	75.0

b. 拡張ワイドタイミング			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
WXGA	1280x720	60	44.8
	1280x800	60	49.6
	1366x768	60	47.7
	1440x900	60	59.9
WSXGA+	1680x1050	60	65.3
c. コンポーネント信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	H水平周波数[Hz]
480i	720x480 (1440x480)	59.94(29.97)	15.7
576i	720x576 (1440x576)	50(25)	15.6
480p	720x480	59.94	31.5
576p	720x576	50	31.3
720p	1280x720	60	45.0
	1280x720	50	37.5
1080i	1920x1080	60(30)	33.8
	1920x1080	50(25)	28.1
1080p	1920x1080	23.98/24	27.0
	1920x1080	60	67.5
	1920x1080	50	56.3

▶ HDMI デジタル

a. PC 信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
VGA	640x480	60	31.5
	640x480	67	35.0
	640x480	72	37.9
	640x480	75	37.5
	640x480	85	43.3
	640x480	120	61.9
IBM	720x400	70	31.5
SVGA	800x600	56	35.1
	800x600	60	37.9
	800x600	72	48.1
	800x600	75	46.9
	800x600	85	53.7
	800x600	120	77.4
Apple, MAC II	832x624	75	49.1
XGA	1024x768	60	48.4
	1024x768	70	56.5
	1024x768	75	60.0
	1024x768	85	68.7
	1024x768	120	99.0
Apple, MAC II	1152x870	75	68.7
SXGA	1280x1024	60	64.0
	1280x1024	72	77.0
	1280x1024	75	80.0
QuadVGA	1280x960	60	60.0
	1280x960	75	75.2
SXGA+	1400x1050	60	65.3
UXGA	1600x1200	60	75.0

b. 拡張ワイドタイミング			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
WXGA	1280x720	60	44.8
	1280x800	60	49.6
	1366x768	60	47.7
	1440x900	60	59.9
WSXGA+	1680x1050	60	65.3
c. ビデオ信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
480p	640x480	59.94/60	31.5
480i	720x480 (1440x480)	59.94(29.97)	15.7
576i	720x576 (1440x576)	50(25)	15.6
480p	720x480	59.94	31.5
576p	720x576	50	31.3
720p	1280x720	60	45.0
	1280x720	50	37.5
1080i	1920x1080	60(30)	33.8
	1920x1080	50(25)	28.1
1080p	1920x1080	23.98/24	27.0
	1920x1080	60	67.5
	1920x1080	50	56.3
d. HDMI 1.4a 強制 3D タイミング – ビデオ信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
Frame Packing	720p	50	31.5
	720p	59.94/60	15.7
	1080p	23.98/24	15.6
Side-by-Side(Half)	1080i	50	31.5
	1080i	59.94/60	31.3
Top and Bottom	720p	50	45.0
	720p	59.94/60	37.5
	1080p	23.98/24	33.8

RS232 コマンドとプロトコル機能リスト

注記

1. すべてのASCII コマンドの後に <CR>が存在します。
2. ODはASCII コードの<CR>の16進コードです。

ビット/秒：19200
 データビット：8ビット
 パリティ：なし
 ストップビット：1
 フロー制御：なし
 UART16550 FIFO：無効
 プロジェクター返送（可）：P
 プロジェクター返送（不可）：F

XX=00-99, プロジェクター ID,
 XX=00は、すべてのプロジェク
 ター向けです

プロジェクターに送る

232 アスキーコード	HX3070U コード	n 値	注
~XX00 1	7E 30 30 30 30 20 31 OD	電源 オン	
~XX00 0	7E 30 30 30 30 20 30 OD	電源 オフ	
~XX01 1	7E 30 30 30 31 20 31 OD	レシク	
~XX02 1	7E 30 30 30 32 20 31 OD	AV/ミュート(ブランク)	オン
~XX02 0	7E 30 30 30 32 20 30 OD		オフ
~XX03 1	7E 30 30 30 33 20 31 OD	ミュート	オン
~XX03 0	7E 30 30 30 33 20 30 OD		オフ
~XX04 1	7E 30 30 30 34 20 31 OD	フリーズ	
~XX04 0	7E 30 30 30 34 20 30 OD	アンフリーズ	
~XX05 1	7E 30 30 30 35 20 31 OD	ズーム プラス	
~XX06 1	7E 30 30 30 36 20 31 OD	ズーム マイナス	
~XX12 1	7E 30 30 31 32 20 31 OD	ダイレクトソース	HDMI 1
~XX12 5	7E 30 30 31 32 20 35 OD		VGA 1
~XX12 6	7E 30 30 31 32 20 36 OD		VGA 2
~XX12 10	7E 30 30 31 32 20 31 30 OD		ビデオ
~XX12 11	7E 30 30 31 32 20 31 31 OD		マルチメディア
~XX12 15	7E 30 30 31 32 20 31 35 OD		HDMI 2
~XX20 1	7E 30 30 32 30 20 31 OD	カラーモード	ブライト
~XX20 2	7E 30 30 32 30 20 32 OD		PC
~XX20 3	7E 30 30 32 30 20 33 OD		映画
~XX20 4	7E 30 30 32 30 20 34 OD		ゲーム
~XX20 5	7E 30 30 32 30 20 35 OD		ユーザー
~XX21 n	7E 30 30 32 31 20 a OD	ブライトネス	n = 0 (a=30)~ 100 (a=31 30 30)
~XX22 n	7E 30 30 32 32 20 a OD	コントラスト	n = 0 (a=30)~ 100 (a=31 30 30)
~XX23 n	7E 30 30 32 32 20 a OD	シャープネス	n = 0 (a=30)~ 31 (a=33 31)
~XX60 1	7E 30 30 36 30 20 31 OD	フォーマット(アスペクト比)	4:3
~XX60 2	7E 30 30 36 30 20 32 OD		16:9
~XX60 3	7E 30 30 36 30 20 33 OD		16:10/ウルトラワイド
~XX60 7	7E 30 30 36 30 20 37 OD		自動
~XX66 n	7E 30 30 36 36 20 a OD	キーストーン	n = -40/40
~XX70 1	7E 30 30 37 30 20 31 OD	ランゲージ	英語
~XX70 2	7E 30 30 37 30 20 32 OD		ドイツ語
~XX70 3	7E 30 30 37 30 20 33 OD		フランス語
~XX70 4	7E 30 30 37 30 20 34 OD		イタリア語
~XX70 5	7E 30 30 37 30 20 35 OD		スペイン語
~XX70 6	7E 30 30 37 30 20 36 OD		ポルトガル語
~XX70 7	7E 30 30 37 30 20 37 OD		ポーランド語
~XX70 8	7E 30 30 37 30 20 38 OD		オランダ語
~XX70 9	7E 30 30 37 30 20 39 OD		スウェーデン語
~XX70 10	7E 30 30 37 30 20 31 30 OD		ノルウェー語

~XX70 22	7E 30 30 37 30 20 32 32 0D		トルコ語
~XX70 24	7E 30 30 37 30 20 32 34 0D		デンマーク語
~XX71 1	7E 30 30 37 31 20 31 0D	プロジェクション	前-デスクトップ
~XX71 2	7E 30 30 37 31 20 32 0D		後-デスクトップ
~XX71 3	7E 30 30 37 31 20 33 0D		前-天井
~XX71 4	7E 30 30 37 31 20 34 0D		後-天井
~XX72 1	7E 30 30 37 32 20 31 0D	メニュー ロケーション	左上
~XX72 2	7E 30 30 37 32 20 32 0D		右上
~XX72 3	7E 30 30 37 32 20 33 0D		センター
~XX72 4	7E 30 30 37 32 20 34 0D		左下
~XX72 5	7E 30 30 37 32 20 35 0D		右下
~XX80 n	7E 30 30 38 30 20 a 0D	ミュート	n = 1/0 (オン/オフ)
~XX81 n	7E 30 30 38 31 20 a 0D	ボリューム	n = 0 (a=30) ~ 30 (a=33 30)
~XX101 n	7E 30 30 31 30 31 20 a 0D	高さ高度	n = 0/1 (a=30/31)
~XX106 n	7E 30 30 31 30 36 20 a 0D	オートパワーオフ (最少)	n = 0 (a=30) ~ 120 (a=31 32 30), step=5
~XX318 n	7E 30 30 33 31 38 20 a 0D	マイク ボリューム	n = 0 (a=30) ~ 30 (a=33 30)
~XX112 1	7E 30 30 31 31 32 20 31 0D	リセット	はい
~XX140 10	7E 30 30 31 34 30 20 31 30 0D		アップ
~XX140 11	7E 30 30 31 34 30 20 31 31 0D		左
~XX140 13	7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0D		右
~XX140 14	7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0D		ダウン
~XX140 15	7E 30 30 31 34 30 20 31 35 0D		キーストーン +
~XX140 16	7E 30 30 31 34 30 20 31 36 0D		キーストーン -
~XX140 17	7E 30 30 31 34 30 20 31 37 0D		ボリューム -
~XX140 18	7E 30 30 31 34 30 20 31 38 0D		ボリューム +
~XX140 20	7E 30 30 31 34 30 20 32 30 0D		メニュー
~XX140 29	7E 30 30 31 34 30 20 32 39 0D		ソース

プロジェクターからの読み取り

232 アスキーコード	HX3070U コード	n 値	プロジェクター戻り 注
~XX121 1 7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	入力ソース	OKn	n: 0/2/3/5/7/8/10 = なし/VGA1/VGA2/ビデオ/ HDMI1/HDMI2/マルチメディア
~XX122 1 7E 30 30 31 32 32 20 31 0D	ソフトウェア バージョン	OKdddd	dddd: FW バージョン
~XX123 1 7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	ディスプレイ モード	OKn	n: 1/2/3/4/5 = 明るさ/PC/ 映画/ゲーム/ユーザー
~XX127 1 7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	アスペクト比	OKn	n: 1/2/3/7 = 4:3/16:9/16:10/ 自動
~XX150 1 7E 30 30 31 35 30 20 31 0D	インフォメーション	Okabbbbccdddee	説明の指示通りにしてください

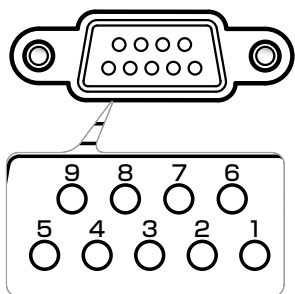
a: 電源状態, 1/電源 オン, 0/スタンバイ

b: LD 時間, 99999時間まで

c: 入力ソース, 0/2/3/5/7/8/9 = なし/VGA1/VGA2/ビデオ/HDMI1/HDMI2/マルチメディア

d: ファームウェア バージョン, 電源オンの状態: スカラー F/W バージョン, /電源オフの状態: MCU バージョン

e: カラーモード, 1/2/3/4/5 = 明るさ/PC/映画/ゲーム/ユーザー

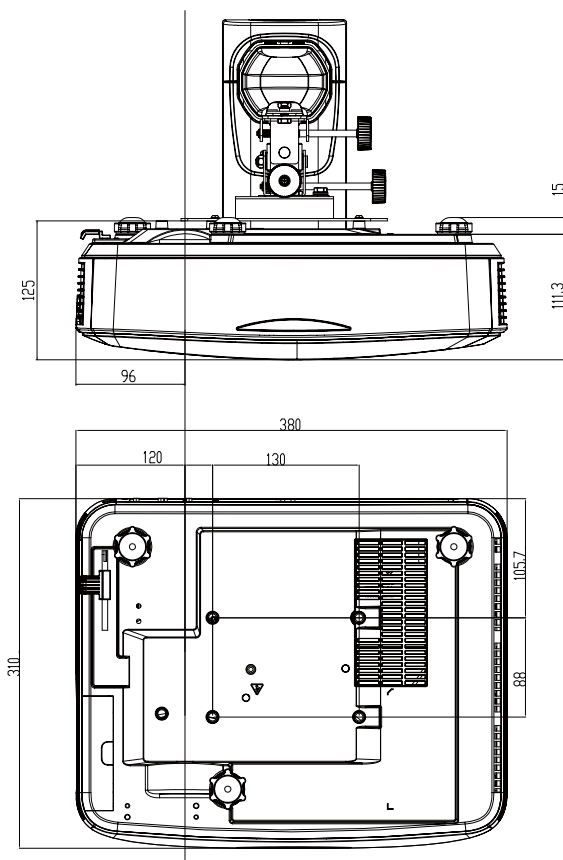


ピン no.	仕様 (プロジェクター側から)
1	なし
2	TXD
3	RXD
4	なし
5	GND
6	なし
7	なし
8	なし
9	なし

プロジェクターの寸法と天井取り付け

他社製の天吊りキットをご利用になる場合、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ネジの種類 : M4×5
- 最小ネジ長 : 10 mm



注記 プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効となります。予めご了承ください。

警告



必ず実行

1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
2. プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにしてください。
3. プロジェクターは、熱源の近くに設置しないでください。
4. 他社製の天吊りキットを使用してプロジェクターを設置した場合のプロジェクターの落下事故やそれに伴う怪我などの損害については、当社の責任の範囲外となります。

保 証 書

型 式	DLP プロジェクター		
シリアル番号			
ご購入日	年 月 日	保証期間	ご購入日から1年間
★お客様	ご住所		
	お名前	様 TEL ()	
★販売店	住所名	TEL ()	
		印 またはサイン	

ご販売店様へ 上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記入されているか確かめください。

万一記入が無い場合は直ちに買い上げ販売店にお申し出ください。

※故障品の修理に要する当社までの運送費はお客様のご負担となります。

1.保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。

- (1) この保証書のご提示がない場合。
- (2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お販売店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
- (3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
- (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
- (5) 火災や天災等による故障および損傷。
- (6) 消耗品および付属品の交換の場合。

2.その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。

3.ランプの保証期間について

ランプの保証は購入日または交換日より6ヶ月以内もしくはご使用時間が1000時間までのいずれか早く到達した時点までとなります。

3.この保証書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only Japan.

4.本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記コンタクトセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター：0120-380-495
<https://jp.os-worldwide.com>
E-mail:info@os-worldwide.com

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスプラス
コンタクトセンター：0120-212-750
https://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/
E-mail:e.info@os-worldwide.com

Optoma global offices

For service or support, please contact your local office.

USA

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

Canada

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

Latin America

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

Europe

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
Service Tel : +44 (0)1923 691865

 +44 (0) 1923 691 800
 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com

Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 820 0253
 +31 (0) 36 548 9052

France

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt,
France

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35
 savoptoma@optoma.fr

Spain

C/ José Hierro, 36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain

 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32

Deutschland

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

 +49 (0) 211 506 6670
 +49 (0) 211 506 66799
 info@optoma.de

Scandinavia

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

 +47 32 98 89 90
 +47 32 98 89 99
 info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

Korea

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

 +82+2+34430004
 +82+2+34430005

Japan

東京都足立区綾瀬3-25-18

株式会社オーエス

コンタクトセンター:0120-380-495

 info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

Taiwan

12F., No.215,Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw

 +886-2-8911-8600
 +886-2-8911-6550
 services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

Hong Kong

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

 +852-2396-8968
 +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

China

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

 +86-21-62947376
 +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

